

今は未来のためにある

一人一人が主人公 ~規律を守り、全力で挑戦し、高め合える仲間たち~

No.6 令和7年5月15日 発行者;校長 小倉 大二

【学校教育目標】

校訓「誠実・勤勉・礼儀」に則り、
思いやりの心を持ち、
新たな価値創造に挑戦する中で、
母校への誇りをはぐくむ生徒の育成

SNSでの詐欺被害に気を付けて！

- 「Instagram」で知り合った相手から「シグナル(メッセージアプリ)」に誘導され、「受け子」の指示を受けるも、従わなかったところ、電話で脅され、親族にも着信が繰り返された。
- 「X(旧ツイッター)」で「高額収入」と書かれた投稿を見て応募し、怖くなり断ったところ、「お前、逃がさないからな」といったメッセージと個人情報を送られてきた。

これは、福岡県警に実際に相談があった闇バイトの勧誘被害の内容の一部です。近年、小中学生のスマホ保有率が高まると同時に、SNSを通じて、知らず知らずのうちに子どもが犯罪に加担し加害者になったり、被害にあったりする事案が全国的に増えてきているそうです。

報道等でご覧になった方も多いと思いますが、先日、本市立学校のすべての校長が集められ、「児童・生徒等から被害者・加害者を生まないために」をテーマに、「闇バイト」や「ニセ電話詐欺」「SNS型投資・ロマンス詐欺」に関する研修会が行われました。

昨年度のことですが、私の娘の友達になりすまし、「交通費がなくなって家に帰れずに困っているからPayPayに入金をお願い」というメールが届きました。娘が怪しく思い相談してきたので、その保護者に確認したところ、友達のアカウントを乗っ取った詐欺だとわかったので事なきを得たのですが、実に恐ろしい時代になったと痛感した次第です。

研修では、福岡県警の方が、年々、ニセ電話詐欺の被害数、被害額が増えていることや、知らず知らずのうちに、学生も「受け子(お金を騙しとる相手から、現金を直接受け取ったり、宅配便で送られてきた現金の入った荷物を受け取ったりする者)」等の闇バイトを行い、犯罪に加担し、人生に取り返しつかないことになっている子どももいる等の説明がありました。

最近では、警察官へのなりすましや、いろいろな人が様々な立場で入れ代わり立ち代わりに表れ、あたかも本当のように思わせる手の込んだ詐欺が増え、騙されている人も増えてきているそうです。

ぜひ、ご家庭でも、日ごろからお子様のスマホやゲーム等をはじめとするSNSの使い方に注意を払っていただくとともに、「闇バイト」や「ニセ電話詐欺」等を話題にさせていただき、犯罪に巻き込まれることがないようにご指導ください。